

# 第4回地区説明会 意見の概要

## 適正規模・統合について

| 中学校区 | 質問  | 市の見解  |
|------|---|---|
| 八重原中 | 適正規模が必ずしもよいとは言えないのではないか。小規模は子どもに活躍のチャンスが多くある。   | 小規模校には小規模校の良さがあることは認識しております。<br>しかしながら、社会に出て必要となる資質や能力、社会性などを身につけさせるという学校の役割から、一定規模の集団を確保し、その中で学び合い、協力し合い、切磋琢磨できる環境は必要であると考えます。                                   |
| 周西中  | 学校再編は何のために行っているのか。単学級の学校でもよさがある。坂田と大和田の統合には反対である。   |   |
| 周西中  | 分離した学校の再統合を早急に取り組んでもらいたい。単学級の解消は、中山間地域も市街地も問題は同じである。  | 学校の小規模化の課題は、どの地域でも同じだと認識しております。<br>子どもたちにとってよりよい教育環境を目指し、今後は市街地での再編について取り組んでまいります。<br>分離開校した経緯、今後の児童生徒数、通学の安全面、地域とのつながりなどにも配慮し、統合や学区の見直しなど多面的な検討を行う必要があると認識しています。 |
| 周西中  | 人口減少に伴う児童生徒数、学級数の減少は避けて通れない。地域から学校がなくなることは寂しいことであるが、「子どもたちにとってよりよい教育環境をつくること」は必要不可欠である。   |   |
| 周西中  | 統合に賛成である。<br>・クラス数が少ないと、人間関係が固定化されてしまい、その関係に引きづられて解消する手立てがない。(子どもも教師も被害者になっている)<br>・学力面などで、現状に満足してしまう傾向にある。<br>・君津市は地元だけでなく、東北や九州と多くの人が集まっている。いろいろな考え方に触れることができる。これを生かさないともったいない。 |   |
| 周西南中 | クラス替えができる環境の方がよいが、統合により通学距離が長くなるなどの課題もあり難しい。  |   |
| 小櫃中  | 1日でも早くよりよい再編の計画を決定し、それに向かって準備をしていきたい。再編はするべきで、いろいろな意見があるが、子どもの幸せのために協力したい。  | 第2次実施プログラムについては、統合や学区の見直しなど、多面的に検討を行う必要があり、保護者や地域の意向も調査しながら、プログラム案を作成してまいります。   |
| 八重原中 | 適正規模により多くの友達と刺激あって、勉強や活動ができるのはよい。一方で特別に支援が必要な子も多く、ゆとりある個別教育も必要だ。  | 適正規模により教育環境を整備しつつも、個の能力を伸ばすためには、一人ひとりに応じた支援は必要であると認識しております。<br>学校と連携し、指導体制を整えることができるよう支援してまいります。  |
| 周南中  | 適正規模について理解はするが、1学級の編成人数について変わるのか。   | 学級の編成人数は、国の法律によって則り、県が定めています。<br>個に応じたきめ細かな指導ができるよう、本市では指導補助教員などを配置し、取り組んでおります。   |
| 周西中  | 過去には過大規模での勤務経験があったが、授業や教育活動を行う上で課題も多かった。やはり「適正規模」という考え方は必要だと感じる。  | 現在進めている学校再編は、大規模を目指しているものではありません。ご指摘のとおり、教育活動を行う上で一定の規模を確保することは重要で、適正規模の観点は必要だと考えております。   |

|      |   |  |
|------|---|--|
| 君津中  | 現在増置教員や加配教員を活用して、本来であれば1学級のところを2学級にしている。学級が少ないことは課題であり、適正規模により活気ある教育活動を展開していきたい。  | <p>「クラス替えができる」ということは、児童生徒にとって、多様な考えに触れることや、多様な人間関係を形成することができるという面から必要であると考えております。</p> <p>また、児童生徒にとってだけではなく、学級数によって教職員が配置されることから、教育活動を行う学校運営の面にも大きな関係があると考えております。</p> <p>経験を多く積んだ職員、若い職員などが互いに指導方法を学び合うことや組織的に指導にあたることは、学校運営を行う上でも必要であるとと考えております。</p> |
| 周西中  | 現在勤務する学校には単学級の学年もあり、「クラス替えができる」ということは、今よりもよりよい教育環境であると感じる。  |  |
| 八重原中 | よりよい教育環境という視点から、単学級もある現状について職場で意見を聞いた。メリットとして一人ひとりに目が届きやすいことや、同じ人間関係が続くため、アットホームな雰囲気を築きやすいということがある。一方で、友人関係でトラブルがあった場合に、子どもの関係だけでなく保護者の関係まで難しくなるなどの課題もある。 |  |
| 八重原中 | 現在、単学級をもつ担任として、クラス替えができることが望ましいと感じる。  |  |

## 再編の進め方

| 中学校区 | 質問  | 市の見解  |
|------|---|---|
| 清和中  | 複式学級でも、地域にとっては残してほしい学校であった。第1次実施プログラムでは準備期間が短かったので、第2次実施プログラムはその時間をしっかり確保してほしい。                                 | 再編は「子どもたちにとってよりよい教育環境」を目指しており、児童生徒や保護者への影響、学校運営など様々な条件を整える必要があります。条件整備のために一定の準備期間がかかりますが、できる限りスピード感を持って進めてまいります。                        |
| 周西中  | 実施までの期間が長い。適正規模と学区の見直しについて早く実施してほしい。  |   |
| 周西南中 | 児童生徒数が急速に減少していることがよくわかった。スピード感を持って進める必要があると感じた。   |   |
| 八重原中 | 昔のままの学校の在り方では成り立たないので、スピーディーに改革をお願いしたい。   |   |
| 周西南中 | 今後の再編は、統合が先か、それとも学区の見直しから行うのか。  | 君津地区における再編については、統合による適正規模だけでなく、学区の見直しなど多面的・複合的に取り組む必要があると認識しております。  |
| 八重原中 | 第2次実施プログラムでは、統合と同時に学区についても実施していくのか。それとも別々に実施するのか。   | 現状からの変更については、児童生徒に影響を与えることから、同時に検討する必要があると考えます。   |
| 周西中  | 地域によっては反対する意見もあると思うが、子どもたちのことを考えて、計画的に、早期に進めてほしい。   | 学校再編基本計画にあるように、この学校再編は「子どもたちにとってよりよい教育環境」を目指すものです。君津の学校で学んでよかったと感じることができるよう計画的に進めてまいります。  |
| 周西中  | 誰のために再編を進めるのかということ、意識して進めていく必要があると感じる。地域や保護者などいろいろな考えもあるが、「子どものため」ということを根底に進めていくべきである。                          |   |
| 周西南中 | 自治会が2つの学校区にまたがっている地区があるが、子どものことを最優先に考えて進めていくのか。   | 「子どもたち」の教育環境を優先して考えてまいります。地域とのつながりについても配慮をしながら進めてまいります。   |
| 周南中  | 学区の見直しについて賛成するが、地域や保護者には様々な意見がある。アンケートなどを実施して、意見を集めたらどうか。   | これまででも有識者、保護者アンケート、説明会、パブリックコメントなど様々な手法を使って意見を聴取してきました。学校再編は児童生徒、保護者、地域関係者、学校関係者に関わることであり、これからも様々な方法を使って保護者や地域関係者の意見を聴取する必要があると認識しています。 |
| 周西中  | P T Aとして何ができるか考えている。説明会に参加できない、また参加しても発言できない方も実際には多い。どのように意見を吸い上げていくのか。また、これから学校に上がってくる家庭の保護者の声を吸い上げる必要もあると感じる。 |   |
| 周西南中 | 少子高齢化は急速に進行しており、教育だけでなく福祉の面など関連している。行政と市民が一体となって進めていく必要がある。市民の意見も吸い上げながら進めてほしい。                                 |   |
| 周南中  | 再編についての進捗状況を、広報誌などで適宜報告をしてほしい。  |   |
| 周南中  | 再編についての進捗状況を、広報誌などで適宜報告をしてほしい。  |   |
| 周南中  | 再編についての進捗状況を、広報誌などで適宜報告をしてほしい。  | これまでの取り組みも市のホームページを活用し、広く情報を公開しながら進めており、今後も同様に進めてまいります。   |

|      |   |  |
|------|---|--|
| 周西中  | 説明会の進め方として、具体的な案をいくつか提示し、それについて意見をもらうような方法で進めていく方がよい。 | 今回の説明会は、課題を共有化することを目的に実施しました。それを踏まえて、次回以降の説明会で具体的な構想案を提示し、それに対するご意見やご提言をいただき、議論を深めたいと考えます。 |
| 周西中  | 学校の統合は10年前から進めるべきではなかったか考える。                          | 学校再編の取り組みが遅れていることは十分認識しております。その分、丁寧な説明に心がけながらも、スピード感を持って取り組んでまいります。                        |
| 周西南中 | 学区の見直しと適正規模の両立を施設や地域との関わりも踏まえながら再編していくことの難しさを感じた。     | 適正規模、学区の見直し、通学、地域との関わりだけでなく、施設の面、多面的・複合的な検討を行う必要があると考えております。                               |
| 君津中  | 今後説明会を実施する場合には、小学校単位のような小規模の説明をしてほしい。                 | 第1次実施プログラム（案）の説明会においても、その後要請により、PTAや自治会への説明を随時実施してまいりました。今後も検討してまいります。                     |

学区（通学区域）について

| 中学校区 | 質問   | 市の見解   |
|------|--|--|
| 八重原中 | 統合よりも学区の見直しが先である。  | 適正規模の観点から分離開校した経緯も踏まえつつ、児童生徒の通学の面（距離、安全面、道路状況など）、地域との関係などを多面的に検討を行う必要があると考えます。現状から変化する児童生徒への影響を考えると、統合と学区の見直しは、同時に実施する方がよいと考えております。                |
| 八重原中 | 学区の見直しは必要だと思う。   |  |
| 周西中  | 学区の見直し、学校の位置などは検討が必要である。   |  |
| 君津中  | 学区の変更は非常にデリケートな作業だと考える。今後どのようなプロセスで進めていくのか。  |  |
| 八重原中 | 学区見直しの考え方について知りたい。個人的には現在の中学校区が妥当だと考える。  |  |
| 八重原中 | 小学校と中学校は人間関係をつくる大切な時期であり、小学校と中学校のつながりも考慮して学区の見直しをしてほしい。  | 学区の見直しについては、兄弟姉妹の関係、小学校から中学校への進学的面についても、配慮が必要だと認識しております。経過措置など、弾力的な運用を行うことも含め検討を行います。  |
| 君津中  | 通学区域審議会はどういうものなのか。   | 学校関係者、保護者、自治会代表、社会教育・学校教育において識見を有する方、交通・防犯等の担当部署の方々と組織されるものです。地域の実情や保護者の意見、教育関係や交通・防犯等の状況を踏まえ、様々な視点から議論、審議をいただき、提言などをいただくものです。                     |
| 周西中  | 朝大和田小の前に立っていると、大和田小の子どもと一緒に、坂田小の子どもが通過している現状がある。学区の見直しも必要である。  | 通学の状況、交通安全、連れ去りなどの生活安全など様々な観点から見直しを検討して行く必要があると考えています。   |
| 八重原中 | 学区の見直しについては、国道127号線を横断するようなことも関わってくると思うが、安全性の問題等もある。どのように捉えているのか。  | また、児童生徒の安全を確保するための支援方法、環境整備などについても同時に検討する必要があると認識しています。  |
| 周西中  | 通学について4 km、6 kmの基準があるが、小学生にとっては4 kmは遠い。また、スクールバスに乗れない子どももいると思うが、どのような対応を考えているか。                            | 文部科学省の基準をもとに、通学距離の基準を定めているものです。統合や学区の見直しなどにより、基準を超える場合には、スクールバスなどの通学手段を検討してまいります。  |
| 八重原中 | 市街地で4 kmを通学するのは小学1年生にとっては大変なので考えてほしい。  |  |
| 周南中  | 学区の端の低学年の子の送迎について、親に負担がかかっている。スクールバス等は導入できないか。   |  |
| 八重原中 | 八重原地区で、以前、国道で死亡事故があり、そのような事故が2度と起こらないように、現在毎日保護者や地域の方々が交通当番に立っている。学区の見直しを行う場合には、子どもの安全が一番大切である。            |  |
| 八重原中 | 子どもの安全面から、国道を横断することだけが危険とは言い難い。現在は、国道の横断による事故は無く、それ以外の細い道や交差点で起きている。通学の安全については、距離や交通量、道路の状況など総合的に考える必要がある。 | 子どもたちの生命に関わる通学の安全確保は、学区の見直しの有無に関わらず重要だと認識しております。学区の見直しをする際には、道路状況、交通量、横断歩道や信号などの設備の状況について調査し、検討を行います。また、安全確保のための手立てについて検討し、関係部署、関係諸機関にも働きかけてまいります。 |
| 八重原中 | 外箕輪小は国道127号線を通して通学する児童において、過去に交通事故による死亡事故もあって建設された経緯もあると聞いた。市街地はクラス替えより通学時の安全こそが大切である。                     |  |



第1次実施プログラム・第2次実施プログラム

| 中学校区 | 質問   | 市の見解   |
|------|--|--|
| 周西南中 | 第1次実施プログラムを進めていて、どのような課題があり、地域からはどのような意見があるのか。                                   | 現在、小糸・清和地区において統合準備室を設置し、地域代表者、保護者代表者、学校関係者と新しい学校づくりに向けて取り組んでいます。<br>新たな学校づくりには、学校運営、教育課程、PTA組織など様々な検討課題があります。その課題を一つ一つクリアするために、統合準備室で協議を行っているところです。                                      |
| 八重原中 | 現在、統合準備室で行われている内容や問題点などをもっと知りたい。   | また、保護者や地域代表者もそれぞれの団体での活動もあり、できる限り負担を少なく、効率的な会議運営を行うことも課題の一つです。<br>現在、児童生徒の事前交流を進めておりますが、保護者や地域間の交流も進めていく必要があるのではないかという意見があります。<br>取り組みの状況については、自治会回覧や、市のホームページなどを活用し、広く情報を出しながら進めてまいります。 |
| 周西中  | 学校再編（第2次実施プログラム以降の取り組み）を37年度までと言わず、速やかに取り組んでほしい。                                 | 君津地区における再編については、統合による適正規模だけでなく、学区の見直しなど多面的・複合的に取り組む必要があります。<br>次回以降の説明会にて構想案を提示し、それに対する意見をもとに第2次実施プログラム  |
| 君津中  | 第2次実施プログラムの実施時期は、概ね第1次実施プログラムが終了以降ということであったが、案の提示はいつごろなのか。                       | （案）を提示します。<br>児童生徒や保護者の不安を招かないよう、できるだけ早めに提示するよう、努めてまいります。  |
| 周西中  | 適正規模を満たしていない学校のほとんどが分離開校した学校で、時代の流れで仕方がないかもしれないが、校舎等にかかるお金がもったいない。よく考えて計画をしてほしい。 | 急激に児童生徒数が増加したことから、子どもたちのよりよい教育環境を求めて、分離開校しました。<br>これまでも時代に応じた再編は行われており、子どもたちにとってよりよい教育環境を整備できるように、計画的に取り組んでまいります。  |
| 周南中  | 第1次実施プログラムでの小学校は統合してもクラス替えはできないが、いずれは再度統合をするのか。また、小櫃小は単学級であるが、統合の対象としないのか。       | 第1次実施プログラムでは中山間地域の学校を全て対象として検討を行いました。基本計画にもあるように、適正規模を目指しておりますが、児童生徒の発達段階、地域の実情へ配慮し、プログラムを決定しました。<br>本基本計画年度内に再度統合を行うことは考えておりません。  |

特色ある学校づくり

| 中学校区 | 質問   | 市の見解   |
|------|--|--|
| 周南中  | 周南小中学校は一貫教育を進めていくとのことだが、これまでとどのように変わるのか。   | 小中一貫教育は、「学びの連続性」により、中1ギャップの解消や学力の向上につなげようとするものです。周南小中学校では、算数・数学を中心に組みを進める予定である。学年ごとの系統性を踏まえて指導することで、わかりやすい授業展開へとつなげてまいります。   |
| 周南中  | 周南小中学校は一貫教育となるが、同一敷地内に無く、教職員の長時間労働が問題になっているのに、実際にできるのか。                                      | 時間割を工夫し、負担がかからないような方法を検討しています。また、メールやデータの共有などメディアを活用し、効率的に業務を進めていくような工夫を図ってまいります。人的な加配については、県に強く要望をしているところです。  |
| 周南中  | 小中一貫教育において、中1ギャップの解消など図れることはとてもよい。一方で教職員の移動や業務量などが増加し、今よりも負担が増加してしまうのではないかと感じる。加配などの措置はあるのか。 |  |
| 周南中  | 小中一貫教育において、学力向上への具体的改善策は何か。  | 9年間の「学び」の連続性を図るため、小・中学校の教員が合同の研修会をとおして、指導方法について共通理解をして、系統的・継続的な指導を行い学力向上を図ります。また、全国学力・学習状況調査等の分析結果から、児童生徒の実態を把握し、課題となっていることに対して改善策を立て、きめ細やかな指導や家庭学習につなげる指導を行い、学習したことが定着できるよう授業改善を行ってまいります。 |
| 周西南中 | 小中一貫教育で、9年間同じ人間関係の中で、輪の中に入れない子どもが出てくるのではないかと感じた。   | 先進事例においても、人間関係の固定化は課題の一つとしてあります。クラス替えができ多様な人間関係を築くことができることや、異学年交流による縦の関係づくりなどを行いながら、個に応じた支援をしていくことが重要だと考えます。   |
| 君津中  | 小中一貫教育を実施する学校とそうでない学校の間で格差が出るように感じるが、どのように考えているのか。   | 各学年で学ぶ内容については、一貫教育でも変わりません。周南小中学校での実践や先進事例をもとに、小中一貫教育の導入拡大も視野に調査・研究してまいります。  |
| 周西南中 | 近隣市町村でも統合の事例は多くある。幼保小中が1つの敷地に建設されることで、スクールバスの効率的な運用や一貫教育などメリットも多いと感じる。他の事例も参考に進めてほしい。        |  |
| 八重原中 | 小中一貫校について、素晴らしいと感じた。特別支援教育についても、具体的な説明がほしい。  | どの子ども同じ場でともに学び、学びの達成感を味わうことができる体制を整えることが必要であり、「インクルーシブ教育システム」の導入に向けて、引き続き調査・研究してまいります。   |

|      |   |   |
|------|---|---|
| 周西南中 | 現在でも地域と学校は連携して取り組んでいるが、コミュニティ・スクールになった場合は、どのように変わるのか。   | 現在でも、地域にある関係団体と学校が連携した取り組みを進めております。コミュニティ・スクールでは、それらの団体と学校が一堂に会し協議する点が大きく異なり、現在よりも一歩進んだ関係になることで、学校と地域の協働が進むものと考えます。具体的にどのような取り組みをするかは、地域や学校の課題、願いをもとに、学校運営協議会において検討してまいります。 |
| 周西中  | 青少年健全育成とコミュニティ・スクールの違いは何か。  |   |
| 周西中  | コミュニティ・スクールの具体的なイメージが浮かばない。学校運営に多くの意見が取り上げられることはよいが、運営が困難になる面もあるのではないか。事前に十分な検討を行ってほしい。               |   |
| 君津中  | コミュニティ・スクールのよいところを知りたい。   |   |
| 君津中  | コミュニティ・スクールと学童保育と関係について知りたい。  | 学童保育については、NPO団体などが運営をしており、コミュニティ・スクールと直接関係するものではありません。しかし、放課後の子どもの居場所作りについて地域関係者で取り組んだ先進事例もあり、地域の課題を共有し、関係団体等の連携で取り組むことも可能であると考えます。   |
| 周西南中 | 学校運営協議会の構成人数や任期についてどのように考えているか。   | 学校運営協議会の構成は、保護者や自治会、青少年健全関連、学校・行政関係者をはじめ、地域の状況や特色、目指す取り組みなどによって幅広い視野で考える必要があります。任期も、地域と学校が双方の力を生かすために必要な期間という視点で検討することが大切です。学校・地域の状況に沿った構成、任期を検討してまいります。                    |
| 八重原中 | コミュニティ・スクールについて、例えば災害時の避難について生徒や学校の協力が得られるような体制が取れたりするのか。   | 先進事例では、地域の防災訓練に参加し、被災者としてのみならず、学校に避難した住民の支援者として活動する取り組みなどがあります。具体的な取り組みについては、学校運営協議会において協議していくものです。   |
| 周西中  | 現在、周西地区の学校では、「山の上4校」として、小学校2校、中学校、高等学校と連携した取り組みを行っている。魅力ある学校づくりということで、さらに特色ある学校について連携した取り組みを模索していきたい。 | 学校再編基本計画においては、特色ある学校づくりを行い、学校の活性化を目指しております。小中学校だけでなく、高等学校等の異校種との連携も模索していきたいと考えており、各学校と協議しながら進めてまいります。   |
| 君津中  | 今後の市を担う人材の確保が重要である。魅力ある教育を推進し、オリンピック出場選手、ノーベル賞受賞者など具体的な目標を持って進めたらどうか。                                 | 未来の市を担う子どもたちを育成するための再編であり、貴重なご意見として参考にさせていただきます。  |
| 君津中  | 学校の活性化をしていく必要があると感じている。そのために特色ある学校づくりを行うために、具体的な特色メニューについて提示してもらいたい。                                  | これからの時代に求められる教育内容も見据えて、各学校が取り入れることができるような特色メニューについて、今後も調査・研究してまいります。  |



## 施設について

| 中学校区 | 質問   | 市の見解  |
|------|--|---|
| 周西南中 | 分離開校した学校を統合する場合には、築年数の新しい校舎を活用することになるのか。       | 分離開校した経緯、児童生徒の通学状況、施設の状態、地域の状況などを総合的に検討し、判断をします。  |
| 八重原中 | 外箕輪小は、施設の状態やグラウンドの水はけもとてもよい。今後も学校施設として活用してほしい。 |   |
| 複数   | 統合後の校舎の跡地利用について、どのように考えているのか。                  | 学校施設は、市民にとって貴重な財産であり、有効に活用しなければならないと考えています。活用方法については、地域の方々のご意見も伺いながら、市長部局とも連携し、全庁で考えてまいります。 |

## その他

| 中学校区 | 質問   | 市の見解  |
|------|--|---|
| 周西中  | 住宅地を開発するなどして、人口増加の政策を行うべきである。君津バスターミナル付近などは交通の便もよく、他から移り住む可能性が高いと考える。                                    | 人口増加策については、宅地造成などの都市開発、医療、福祉、教育、就労環境など様々な要素が密接に関連しております。現在の少子化による学校の小規模化については、今取り組む必要があると考えており、よりよい教育環境を提供することは、人口増加策にもつながるものと認識しております。 |
| 複数   | 学校を統合することにより、過疎化も進んでしまいそうなので、交通機関など生活しやすい街づくりも同時に早く進めてほしい。   |   |
| 周西中  | 人口が減少しているが、市として対策をしているのか。  | 貴重なご意見として参考にさせていただきます。  |
| 小櫃中  | 通学手段は、スクールバスに限定せず、誰でも乗れるコミュニティバスがよい。お年寄りも買い物や病院などに活用できればよい。  |   |
| 清和中  | よりよい教育環境を目指すためには、人（教員）、施設は重要だ。教育予算を確保し、環境を整えられるようにしてほしい。   | 本市でも指導補助教員など独自に採用し、人的な支援を行っておりますが、教職員の定数は法令により国・県が措置することが基本となっております。よりよい教育を目指すために、教職員の配置、施設も重要であると認識しており、加配措置について国・県に強く要望してまいります。       |
| 八重原中 | 今回を機に、君津の特色ある教育の一つとして、小学校にも副担任の導入、養護教諭の複数配置など、更にきめ細かな子どもたちへの支援ができるよう配慮してほしい。                             |   |
| 八重原中 | 現代の子どもたちの心の発達が乏しく、幼い子どもたちが多い中、統合にあたって子どもたちの心のケアに対してどのように対応していくのか。養護教諭やスクールカウンセラーの複数配置、教職員の数も増やすことはできないか。 |   |
| 八重原中 | 保護者が不安に思っていると、子どもに影響がある。保護者が安心して学校に通わせたいと思う再編を進めてもらいたい。  | 説明会を開催し、児童生徒や保護者に情報を開示しながら進めることで、不安や混乱を招かないように進めてまいります。   |
| 複数   | 2次への取り組みを目指しているのならば、もう少し細かな説明をしてほしい。   | 今回は、再編を進めていくにあたり、課題の共有化を図り今後の議論を深めることが目的でした。次回には構想案を提示し、ご意見やご提言をいただきたいと考えております。   |

|      |  |  |
|------|--|--|
| 八重原中 | 小糸・清和地区の「統合準備室だより」は、今後の自分たちも参考になるし、とてもよい。広く出してほしい。 | 今後も情報を広く開示しながら進めてまいります。  |
| 八重原中 | 学童保育を運営する方の意見を聞いてほしい。                              | 子どもたちの育成に関わる様々な立場の方の意見を伺いたいと考えております。   |
| 君津中  | 外箕輪小を開校する際に、児童数の減少について予測していなかったのか。                 | 八重原小学校の児童数が増加し、過大規模となることから、適正規模を求めて分離開校しました。児童生徒数の推移を予測しながら、子どもたちにとってよりよい教育環境を目指し、その時代にあった再編を進めてまいります。 |
| 周南中  | 郡1～3丁目では、周南小に通学する児童もいるが、それでも貞元小の児童数は増加する見込みか。      | 指定校変更の状況や転出入などを含め、推計を出しており、貞元小の児童生徒は今後増加が見込まれています。   |